

2026年7月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年12月4日

上場会社名 ティーライフ株式会社

上場取引所

東

コード番号 3172 URL <https://www.tealifeir.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西上 節也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営戦略部長

(氏名) 斎藤 正和

TEL 0547-46-3459

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

: 無

決算説明会開催の有無 : 無

: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期第1四半期の連結業績(2025年8月1日～2025年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期第1四半期	2,396	10.7	22	42.7	30	117.2	12	62.6
2025年7月期第1四半期	2,683	11.6	15	68.3	14	72.2	34	55.1

(注)包括利益 2026年7月期第1四半期 11百万円 (%) 2025年7月期第1四半期 2百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期第1四半期	2.98	
2025年7月期第1四半期	7.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年7月期第1四半期	8,832	6,359	72.0	1,490.10
2025年7月期	8,777	6,432	73.3	1,507.29

(参考)自己資本 2026年7月期第1四半期 6,359百万円 2025年7月期 6,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年7月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年7月期		20.00		20.00	40.00
2026年7月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年7月期の連結業績予想(2025年8月1日～2026年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	11,983	4.2	533	16.9	529	16.9	356	0.7	83.49	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名)

除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年7月期1Q	4,267,900 株	2025年7月期	4,267,900 株
期末自己株式数	2026年7月期1Q	224 株	2025年7月期	224 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年7月期1Q	4,267,676 株	2025年7月期1Q	4,262,120 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

上記予想に関する事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、原油価格の変動や円安傾向によるコスト上昇に加え、米国の通商政策や中国経済の減速といった外的要因の影響を受け、不安定な状況が続いている。さらに、記録的猛暑や自然災害の頻発により、エネルギー需要の増加と供給制約が重なり、物価上昇圧力が持続しています。

一方で、春闌による賃上げの継続、政府の経済支援策、インバウンド需要の回復などが景気を下支えしており、全体としては緩やかな回復基調が続いている。

卸・小売業界では、実質賃金の伸び悩みが継続し、節約志向の強まりから個人消費の本格的な回復には時間を要しており、依然として先行きが不透明な状況にあります。

このような経済環境のなか、当社グループは安定的かつ継続的な成長と企業価値の向上を目指し、美と健康を通じ豊かな生活をサポートする企業として、「Mastering Today, Shaping Our Future!」「今日を極め、未来を創る」をスローガンとした中期経営計画の達成に向け、各事業の拡大及び利益確保に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,396百万円(前年同四半期比10.7%減)となりました。

損益面では、営業利益は22百万円(同42.7%増)、経常利益は30百万円(同117.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12百万円(同62.6%減)となりました。当期計画に対しては、売上・利益とも順調に進捗しております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(ウェルネス事業)

テレビショッピング向けの卸販売では既存主力商品の拡販に注力したほか、新商品の開発に注力いたしました。実店舗向け卸販売では気候変動の影響を受けにくい通年商品の拡販により好調に推移しました。カタログ通販においては、顧客開拓の効率改善と販促規模の適正化を進めました。EC分野においては主力商品である茶類の販売が堅調であったことに加え、出店モール毎の広告宣伝費と運営コストの最適化や、オリジナル商品の品揃え拡大に努めました。また、米国向けEC事業や国内外の新規卸先開拓、国内での店舗立ち上げといった今後の成長領域に積極的に投資いたしました。

一方で、カタログ通販市場全般の縮小やECモールの競合出店社数の増加に伴う競争の激化などの要因により、売上高は2,165百万円(前年同四半期比12.2%減)、原材料費や配送コストなどの上昇により、セグメント損失は24百万円(前年同四半期は21百万円のセグメント損失)となりました。

(ロジスティクス事業)

ロジスティクス事業では、袋井センター・掛川センターの安定稼働と、名古屋センターの顧客開拓営業に注力したことにより、売上高は230百万円(前年同四半期比6.9%増)、利益面では人件費や光熱費等のコストプッシュ要因に対応し、各センターの運用効率の改善に努め、セグメント利益は47百万円(同39.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、8,832百万円(前連結会計年度末比55百万円増)となりました。

流動資産の増加(同167百万円増)は、主に現金及び預金が137百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が178百万円、有価証券が98百万円増加したことによるものであります。

固定資産の減少(同111百万円減)は、主に有形固定資産が2百万円増加したものの、投資有価証券が99百万円、のれんが8百万円減少したことによるものであります。

繰延資産の減少(同0百万円減)は、創立費及び開業費の償却によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、2,473百万円(前連結会計年度末比128百万円増)となりました。

流動負債の増加(同154百万円増)は、主に未払法人税等が57百万円減少したものの、買掛金が223百万円、賞与引当金が22百万円増加したことによるものであります。

固定負債の減少(同25百万円減)は、主に長期借入金が16百万円、固定負債のその他が10百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、6,359百万円(前連結会計年度末比73百万円減)となり、この結果、自己資本比率は72.0%となりました。

純資産の減少は、主に利益剰余金が72百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の業績予想につきましては、2025年9月4日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,016	2,879
受取手形及び売掛金	756	935
有価証券	100	199
棚卸資産	913	939
その他	189	192
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	4,970	5,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	629	632
土地	2,429	2,429
その他（純額）	90	89
有形固定資産合計	3,149	3,152
無形固定資産		
のれん	140	131
その他	72	67
無形固定資産合計	212	199
投資その他の資産		
投資有価証券	182	83
その他	254	252
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	436	335
固定資産合計	3,797	3,686
繰延資産	8	7
資産合計	8,777	8,832

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	384	608
1年内返済予定の長期借入金	99	91
未払法人税等	81	24
賞与引当金	50	72
役員賞与引当金	7	–
その他	472	453
流動負債合計	1,097	1,251
固定負債		
長期借入金	819	802
退職給付に係る負債	85	87
資産除去債務	72	72
その他	269	259
固定負債合計	1,247	1,222
負債合計	2,344	2,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	368	368
資本剰余金	337	337
利益剰余金	5,725	5,652
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,430	6,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	1	0
純資産合計	6,432	6,359
負債純資産合計	8,777	8,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
売上高	2,683	2,396
売上原価	1,720	1,468
売上総利益	962	928
販売費及び一般管理費	946	905
営業利益	15	22
営業外収益		
受取利息	1	4
為替差益	—	3
その他	2	2
営業外収益合計	3	10
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	3	—
創立費償却	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	5	2
経常利益	14	30
特別利益		
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	46	—
特別利益合計	46	6
税金等調整前四半期純利益	61	37
法人税等	26	24
四半期純利益	34	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	34	12

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
四半期純利益	34	12
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	△0
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益合計	△36	△0
四半期包括利益	△2	11
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2	11
非支配株主に係る四半期包括利益	–	–

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス 事業	ロジスティクス 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	2,467	55	2,523	-	2,523
その他の収益(注) 3	-	160	160	-	160
外部顧客への売上高	2,467	215	2,683	-	2,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	39	41	△41	-
計	2,470	255	2,725	△41	2,683
セグメント利益又は損失(△)	△21	34	12	3	15

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	ウェルネス 事業	ロジスティクス 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	2,165	62	2,228	-	2,228
その他の収益(注) 2	-	167	167	-	167
外部顧客への売上高	2,165	230	2,396	-	2,396
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	0	0	△0	-
計	2,165	231	2,397	△0	2,396
セグメント利益又は損失(△)	△24	47	22	-	22

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費	27百万円	29百万円
のれんの償却額	13	8